

2021年11月24日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ 歴史の検証』  
——リスクが想像できて、人が実際に動いた先にあった、大会の成功——

## 第103回 米村 敏朗 氏

(2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 元チーフ・セキュリティ・オフィサー)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：渡邊一利）では、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々のお話をもとにスポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考えるためのスペシャルサイト「スポーツ 歴史の検証」を掲載しています。

2021年度のテーマは「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」。今夏に行われた2020年東京大会に尽力された関係者の方々に、それぞれの立場・視点で大会を振り返っていただきます。

大会組織委員会チーフ・セキュリティ・オフィサーを務めていた米村敏朗氏は、セキュリティ分野における幅広い経験、自ら学び蓄えた該博な知識、良書に触れるなかで培った想像力、そして、スポーツを通じて得た人間力で、2020年東京大会を成功に導きました。

大会の驚くべき舞台裏に加え、机上の空論ではない米村氏の思考の奥深さにも迫る本インタビューを、ぜひご一読ください。

### 『『想像と準備』の積み重ねで守り抜かれた安全性』 米村 敏朗 氏

【公開日時】2021年11月24日（水）10:00 公開

【URL】[https://www.ssf.or.jp/ssf\\_eyes/history/interview/103.html](https://www.ssf.or.jp/ssf_eyes/history/interview/103.html)

スポーツ歴史の検証 で検索ください！



【主な内容】新型インフルエンザの比ではない COVID-19 の病原性／“オールジャパン”の結束力で実現したJV（共同企業体）システム／「完全な大作」としてIOCからも称賛されたセキュリティシステム／新感染症に“打ち負けなかった”大会としての成功／“打ち負けな”姿に感動の連続だったパラリンピック

《プロフィール》

#### 米村 敏朗（よねむら としろう）氏

1948年生まれ。1974年、京都大学法学部を卒業。警察庁に入庁し、数々の役職を歴任。2010年、警視総監退任とともに警察庁を退官。内閣危機管理監、内閣官房参与など政府の要職を務めた後、2014年には2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事に、2016年には同組織委員会チーフ・セキュリティ・オフィサーに就任し、2020年東京大会の安全な開催を実現。

#### 佐野 慎輔（さの しんすけ）氏 / インタビュアー

1954年生まれ。産経新聞客員論説委員、尚美学園大学スポーツマネジメント学部教授／笹川スポーツ財団理事／特別上席研究員。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

＜スポーツ歴史の検証＞概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス